

レンゲツツジと明るい尾根歩き 甘利山・千頭星山

実施日 2011年6月26日（日）
 天候 曇り
 リーダー 涌井 良明
 参加者 若村貴世子、若村勝昭、佐藤金治、一柳昭、涌井良明、鈴木恵美子、石附智江、伊藤久雄、石原勝正 計9名
 費用 JR3,240円(高尾起算) 他2,000円
 タイム 韮崎(8:37)広河原登山口駐車場(9:25~9:30)甘利山(10:00~10:07)青木鉾分岐前1920m(10:55~11:05)千頭星山(11:50~12:30昼食)奥甘利山(13:25~13:35)甘利山(14:05~14:20)駐車場(14:30~14:45)ほったらかし温泉(16:35・17:40)山梨市駅(17:00)
 データ 積算距離 9.54 km
 移動時間 3h28m
 停止時間 1h40m
 移動平均速度 2.7 km
 総上昇量 716m
 最高高度 2150 m

雨も覚悟の実施だったが、青空や遠望にも恵まれ、コピー通りに花にも会え、更に温泉のおまけ？付の山行だった。



往復登山やその他からクルマを使っている山行となった。韮崎から2台に分乗して広河原登山口へ、多くの車で我々は第2駐車場へ。

ガスが流れる中を甘利山へ向かう、レンゲツツジは満開の終盤といった感じだが、十分に美しさを見せてくれる。山頂までは観光気分でも左右に咲き誇るツツジにキョロキョロしながら歩く。山頂付近からのツツジ群落の眺めは素晴らしいものである。



山頂から千頭星山へ向かうと、ツツジの原ではなく所々ヤマツツジも交り楽しませてくれる。

緩く下り、150m近く登り返し奥甘利山のピークを巻いて下り、ここからコース一番の急登になる。カラマツ林が美しいが夏山トレーニングと思い体を引上げる。急登の終了点が青木鉾泉への分岐である。



ここからは傾斜も緩い明るい笹原の道になり、一気に和みの気分になる。南にガスに見え隠れ

する山々を望み、一登りすると千頭星山だ、展望は無く、そのまま大駒鹿峠方面へただ進み、開けた笹原で昼食にした。千頭星山頂に戻り、写真を撮って戻ることになる。



途中左前方に鳳凰三山の稜線が間近に見え、地藏岳のオベリスクも登って来いと言わんばかりに見下ろしている。

帰りは大西峰(青木鉾分岐)から急下降になる、雨上がりで木の根の多い道で



気を使いながら下る、この頃には空は明るくなり、時々見せるガスと山肌のコントラストに一期一会を感じながら歩く。折角なので、奥甘利山

のピークを踏んでから、甘利山へ戻った。またまた、ひとしきり展望と花を楽しんでから駐車場へ戻り、歩きは終了した。

今日はクルマ利用の特典で、山梨市のほったらかし温泉へ行くことにして、クルマを走らせる、途中道路混雑はあったが、露天風呂から富士山の眺望を楽しんだことで全て良しである。

花、天候、歩き、温泉、いずれも楽しめた欲張り山行は大成功！！

これも、参加されたこぶし会メンバーのおかげです、有難うございました。

また、こんな山行やりたいですね。

(記&写真提供・涌井 良明)

